

2021A 期における SPring-8/SACLA ユーザー要望等について

登録施設利用促進機関

公益財団法人高輝度光科学研究センター
利用推進部

SPring-8 および SACLA では、各ビームタイム終了後に実験グループごとに「ビームタイム終了届」を提出いただいております。ビームタイム終了届には、次回の利用者へのアドバイスや施設に対する要望、提案等を記入いただいております。

2021A 期における要望等の状況は下記のとおりです。これら要望等と、それに対する施設側の回答（内容により、必ずしも全てではありません）につきましては、User Information で公開されています。

1. 2021A 期 要望等全体概要

2021A 期	実施 課題数	利用実験数 (報告書数)	うち、要望等コメントがある ^{*1} 報告書数		
			技術的 要望等	施設他 要望等	その他 (お礼)
SPring-8 共用 BL	678	1,027	30	23	115
SACLA 共用 BL	44	49	13		

^{*1} 「なし」「None」等のコメントを除く。

<SPring-8 共用 BL 技術的要望等（計 30 件）の研究分野/手法^{*2} 別内訳>

分野/手法	生命科学 医学応用	物質科学 材料科学	化学	地球・ 惑星科学	環境科学	産業利用
X線回折	4	2	6	1		7
X線散乱			1			
X線非弾性散乱		1				
X線・軟X線吸収分光		1				
光電子分光		3				
X線イメージング						2
その他			2			

^{*2} 課題申請時の利用者申告ベース。

2. 2021A 期 要望等の内容（一部抜粋）

(1) 技術的要望等

○マッピング機能のおかげで測定位置の決定がスムーズに行え、実験が順調に進んだ。ただし、マッピング終了時の試料の位置がマッピング開始位置と異なる（開始時：中央、終了時：右上の端）。この違いがXYZT軸制御ソフトの位置表示に自動的に反映されないため、試料位置の誤認がおきた。マッピング終了時に、試料の位置が原点（マッピング開始の位置）

に自動で戻るようにしてもらえると助かります。

【物質科学/光電子分光】

- クラウドでのデータ転送を可能にしてほしい。HDD のやり取りはもはや世界標準ではないし、SPring-8 でも実施していただきたい。ビームタイムに幅を持たせて、決まった日にサンプルを集めるスケジュールは、送る側としては希望しないスケジュールになったときに、測定間がタイトになって困る。

【産業利用（PX-BL）/X線回折】

- 装置のオペレーションシステムが大変使用しやすくなっており、効率的に測定を行うことができました。FPD 検出器の 2D 像を、タイムラグが小さく且つコマ落ちなく、ライブイメージとして表示できる機能があれば、加熱中の試料の状態観察、測定場所決め等が簡便になり、さらに便利になると思いました。

【地球・惑星科学/X線回折】

- 高温電気炉を利用した自動測定システムを使わせていただきました。ベータ版ということでしたが、サンプル位置の調整と入射 X 線の強度調整は非常にうまくできていました。

【物質科学/X線回折】

(2) 施設その他要望等

- 各宿泊棟の入り口に体温センサーを設置してほしい。
- 自動販売機も交通系 IC カードで支払いできるようになると便利かと思えます。また、以前より BL26B1 周辺は携帯電話の電波が入りづらいです。可能なら改善されると助かります。
- ビームラインと宿所の両方にて、eduroam のネットワークが接続しにくい状況でしたので、改善していただけたらありがたいです。
- ウェブカメラやスピーカーなど、遠隔での実験参加、ディスカッションに必要な機器が備品として用意されていたのは助かりました。朝食を充実していただけたらありがたいです。各部室に消臭剤が欲しいです（衣類用）。

